

【開催テーマ】

出雲 神々をめぐる地名と風土



出雲大社本殿千木



神迎神事（大社・稲佐の浜）



ヤマタノオロチ神話の舞台（斐伊川河口）



第37回

全国地名研究者 出雲大会

—「神々の国」「ご縁の国」と言われる島根。

日本で唯一の完本『出雲国風土記』が残り、『古事記』上巻 1/3 を占める「出雲神話」の地・出雲地方で開催します。

平成30年5月26日(土)・27日(日)

どなたでもご自由に参加できます
参加申込書付き／裏面

会場

1日目／26日(土)【研究集会・交流懇談会】—島根県民会館・サンラポーむらくも(松江市)
2日目／27日(日)【エクスカーション】—A・B・Cの3コース(詳しくは裏面をご覧ください)

■主催：日本地名研究所（所長：関和彦）

第37回全国地名研究者出雲大会実行委員会（委員長：吉山治島根県東京事務所長）

■後援：島根県・川崎市・松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町・島根県教育委員会・松江市教育委員会・出雲市教育委員会・安来市教育委員会・雲南市教育委員会・奥出雲町教育委員会・鉄の道文化圏推進協議会・公益社団法人島根県観光連盟・一般社団法人松江観光協会・一般社団法人出雲観光協会・安来市観光協会・奥出雲町観光協会・島根県立古代出雲歴史博物館・出雲大社・出雲教・公益財団法人いづも財団・公益財団法人しまね文化振興財団・国立大学法人島根大学・島根県立大学・国引きジオパーク推進協議会・山陰民俗学会・島根地理学会・まつえ市民大学運営協議会・シマネスクにびき学園・島根半島四十二浦巡り再発見研究会・NPO 法人出雲学研究所・荒神谷博物館・神社ガールズ研究会・京都造形芸術大学島根ものづくりセンター・山陰中央新報社・島根日日新聞社・中国新聞社・朝日新聞松江総局・毎日新聞松江支局・読売新聞松江支局・産経新聞松江支局・共同通信社松江支局・時事通信社松江支局・TSK 山陰中央テレビ・BSS 山陰放送・日本海テレビ・山陰ケーブルビジョン（順不同）

開催
テーマ

— 出雲 神々をめぐる地名と風土 —

出雲には、地名の起源を語る形でまとめられた『出雲国風土記』(天平5年、733年)がほぼ完全で残されています。意宇郡の由来として記される「国引き神話」に見られるように、神々が地名の由来となっていることが多い「出雲」の特性を古代から現代までの歴史の流れの中で学びます。

1日目 / 5月26日(土) 〈研究集会 / 9:30~17:00 交流懇親会 / 18:00~20:00〉※演題は全て予定

【研究集会】= 島根県民会館

《基調講演》『『出雲国風土記』に見る風土と地名』 / 関和彦(日本地名研究所所長)

《第1部》 ●研究発表(1):「小泉八雲の足跡と地名」 / 小泉凡(島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館館長)
●研究発表(2):「たたら製鉄の風土と地名」 / 三宅博士(くにびき学園主任講師)
— 昼食・休憩 —

《特別講演》「方言・出雲弁の風土と地名」 / 藤岡大拙((公財)しまね文化振興財団理事長・NPO法人出雲学研究所理事長)

《第2部》 ●研究発表(3):「国引きジオパーク構想からみた風土」 / 野村律夫(島根大学名誉教授)
●研究発表(4):「江戸初期から続く城下町・松江の地名」 / 大矢幸雄(島根地理学会顧問)
●研究発表(5):「出雲神話世界の地名と大地」 / 千家和比古(出雲大社権宮司)

【交流懇談会】= サンラポーむらくも



国宝・青銅器展示(古代出雲歴史博物館)



菅谷たたら(雲南市)



加賀の瀬戸(松江市)

2日目 / 5月27日(日) 【エクスカージョン】 〈8:30~16:30(予定)〉

いずれも
先着40名
定員

【Aコース】はじめての出雲大社:「日本遺産・日が沈む聖地出雲」

『古事記』の出雲神話の表舞台、稲佐浜・出雲大社・日御碕。島根半島西部の海岸は、夕陽の美しい地として知られています。出雲大社瑞垣内「お庭踏み」をはじめ、これまで体感することがない静寂な出雲の信仰と神話の世界を堪能していただけます。
島根県立古代出雲歴史博物館=北島国造家=出雲大社(瑞垣内お庭踏み)=日御碕灯台=日御碕神社=鷺浦(伊奈西波岐神社)

【Bコース】奥出雲の奥を知る:「日本遺産・出雲國たたら風土記」

『古事記』『日本書紀』に載る出雲神話・八岐大蛇退治は「たたら製鉄」との関わりとも言われます。また『出雲国風土記』にも斐伊川沿いの「たたら」が語られ、かつて「たたら製鉄」の一大産地として栄えた雲南・奥出雲地方の固有の文化、景観、暮らしなどを探訪します。
田部家・鉄の歴史博物館=菅谷たたら=稲田神社・「たたら談義」=奥出雲たたらと刀剣館=棚田=絲原記念館=金屋子神社

【Cコース】島根半島国引き遺遺:「古代びと・神々と大地の風土記」

『出雲国風土記』の冒頭を飾る国引き神話は、古代びとが描いた島根半島誕生のドラマです。その中心の狭田国から意宇世界へ、神坐ます神社・神棲む洞窟・古代世界の渡しを巡ります。海から、川から、道から壮大な大地、そして人々の多様な生活空間を巡ります。
佐太神社=加賀の瀬戸(マリンプラザ加賀・瀬戸遊覧)=加賀神社=島根県立八雲立つ風土記の丘=矢田の渡し(遊覧)

※いずれも先着40名です。参加申込の際は、第1、第2希望を明記ください。

◎大会参加費 / 5月26日(土)

・一般:2,000円 ・大学生以下:無料 ・昼食(希望 / 弁当):1,000円

◎交流懇親会参加費:6,000円

◎エクスカージョン / 5月27日(日)

・参加費:3コースとも 8,500円(昼食・イヤホンガイド・保険付き)

◎参加申込み先 / 第37回全国地名研究者出雲大会実行委員会事務局

FAX:0852-28-8011

封書:〒690-0842 島根県松江市東本町5-31-1西村ビル3F(株)計画設計工房内

《お問い合わせは》

事務局長:福島邦雄 ☎090-3177-4678 mail:fukushima@koubou.matsue.shimane.jp



第37回全国地名研究者 出雲大会

『— 出雲 神々をめぐる地名と風土 —』参加申込書

※この申込書にご記入の上、FAXまたは封書でお申込みください。

※参加申込みの方に、順次、当日プログラム、参加証、振替用紙をご送付いたします。

※ご記入いただいた個人情報、第37回全国地名研究者出雲大会運営に必要な場合以外には使用いたしません。

申込日	年	月	日	【申込締切:平成30年4月30日】			大会参加	交流懇親会
ふりがな お名前				性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 大学生以下	<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席
住所	〒						エクスカージョン参加申し込み <input type="checkbox"/> Aコース <input type="checkbox"/> Bコース <input type="checkbox"/> Cコース	昼食(26日) <input type="checkbox"/> 弁当
ご連絡先 電話番号				メール アドレス			※第1希望① 第2希望②	